

親の学びの場は、子どもの遊び場！？

難聴児の保護者を対象としたワークショップ開催

福岡市を拠点に活動する難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和）と放課後等デイサービス スケッチブックを運営する株式会社 D.L.S（福岡市、代表取締役 梶本真佑）は、2020年2月2日（日）にワークショップ『サポートブックをつくってみましょう』を開催、難聴児を持つ10家族が参加しました。



「サポートブック」とは、成長していく上で細やかな配慮などが必要な子どもたちが、乳幼児期から成人期までのライフステージで途切れることなく一貫した支援を受けられることを目的とし、保護者と関係機関が子どもの情報を共有するために作成するファイルです。目的や活用方法などが盛り込まれた宮崎氏の講演内容を踏まえ、ワークショップを開始。講師が実際に作成したサポートブックを見ながら用意されたシートに必要な事項を記入し、互いにシェアすることで参加者の理解と意識が深まってきました。

保護者が集中できる環境かつ子どもが楽しめる場を設けたいと別室に託児を用意し、ミュージックビデオやCM・ドラマ・映画を中心にメイク&特殊メイクアップアーティストとして精力的に活動するKENJI SATO氏（※）をゲストにお招き。フェイスペインティングやお面づくりなど、託児会場は子どもたちの鮮やかな作品と笑顔に彩られました。「未来への手紙」とも言われるサポートブックは継続的な作成が必要なため、今後も数回にわたりワークショップの開催を予定しております。



（※）<https://www.kenjisatomakeup.com/>

【概要】

日時：2020年2月2日（日）13：00～16：30

場所：ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）

講演：「サポートブックとは？活用について」：宮崎 充弘氏（大阪府 障がい者相談支援アドバイザー）

「難聴児の読み書き指導」：平島 ユイ子氏（福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科教授）

ワークショップ講師：森田智子氏、土本由紀子氏（大阪府河内長野市「ピアはーと」スタッフ）

ゲスト：スペシャルメイクアップアーティスト KENJI SATO/佐藤 健司氏

【本件に関するお問い合わせ先】

難聴の子を持つ家族会 そらいろ <https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>

担当：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp